

目次

- 2 **巻頭のことば**
上野理事長に聞く
- 4 **紛らわしい文法表現**
“X不比YW”と“X跟Y一样W”
- 6 **看图学惯用语**
絵で見る慣用語(13)
- 8 **成語の話**
1声成語と4声成語
- 10 **中国語でどういう？**
ここ、よろしいですか
- 11 **読者の広場**
忘れられない誉め言葉
味わい深い新しい漢詩の本

発行 一般財団法人日本中国語検定協会

本誌掲載の記事、写真、イラスト等を無断で複製・
複写・転載することを禁じます。

上野理事長に聞く

聞き手：『中国語の環』編集室

——高等学校の中国語教育が盛んなようですね。

そうですね。正確な数字は把握していませんが、全国の1,000校近くの学校で何らかの形で中国語教育が行われているようです。

——「何らかの形で」というのは？

週に10数時間という本格的な学校から、クラブ活動や同好会といった趣味的なものまで、さまざまな形態が見られるということです。

たいていは週1、2時間で、他の外国語との選択制になっています。

——検定試験を受ける人も増えてきているようです。

受験者の1割ぐらいが高校生でしょうか。まだまだ大学生と社会人が中心ですが、だんだん学習者の年齢層が下がっていくのはいいことですね。中検を始めた1980年代には考えられなかったことです。

その頃は高年齢の方が多く、中には旧満州で少し勉強しましたが、なんて方もおられて、それはそれで楽しかったのですが……。

——高校生の出来ぐあいはどうですか。

意欲的に学んでいることは察しられますが、学校によって、教える先生によってバラバラかな、という感じがします。

このバラバラ、必ずしも悪いということではありません。「個性的」と言ったほうがよいかもしれませんね。

——授業はどんなふうに行われているのでしょうか。

あいさつ言葉から入って、自己紹介や簡単な日常会話といったところでしょうか。担当者は大半が中国語ネイティブの先生。ただし、ほとんどが非常勤講師。日本人の先生がいても、たいていは他教科との掛け持ち。国は中国語学習の必要性は説いても、なかなか専任の教員を配置してはくれません。

——検定試験の答案から見えてくる学習者の弱点は？

書く力が弱いこと。高校生に限りませんが、文字、特に簡体字が不正確ですね。これは授業が口頭による会話が中心で、文字に注意が及ぶことが少ないことと関係がありそうですね。中には明らかに先生の書きぐせをまねたと思われる誤字や当て字があったりもします。

——繁体字や日本語の常用漢字を使う人も多いようですね。

困りますね。今日の中国語は簡体字が正字ですから。繁体字でも常用漢字でも、たいていは何とか通じますが、通じさえすればよいというものではありません。

——台湾では繁体字が正字ですね。

確かにそのとおりです。ただし、わたくしたちの中検は大陸の“普通话”が中国語の主流であるとの立場から、特に入門段階の準4級から3級までは簡体字の正確

な使用を求めています。

現実の問題として、中国語を使って仕事をしたり交際したりする場合に、「私は簡体字は習っていませんので」では済まないことが多いはずです。

欲を言えば、簡体字に習熟して、なおかつ繁体字もわかるというのが望ましいですね。その前に日本語の常用漢字が正確に書けることかな（笑）。

——先生のおはこ「外国語の前に日本語を」ですね。

母語である日本語の怪しい人に、それを超える外国語を習得できるはずはありませんからね。

その意味では、「英語を小学校の正課に」なんてのは首をかしげたくくなりますね。「その前にやることがあるだろう」と言いたくなります。

——漢字のほかには？

第93回（2017年11月）の4級の日文中訳問題に「この料理は安くておいしい」というのがありました。模範解答は“这儿的菜又便宜又好吃”でしたが、この“菜”を“料理”と訳してはいけなかいということ、採点の現場でだいぶ議論があったようです。わたくしは立場上、問題の作成方針や採点基準については意見を述べますが、個別の問題についての判断は当該回の採点委員長に委ねることにしていますので、上の“料理”の扱いについても口を挟んでいません。

したがって、以下はわたくしの個人的な意見ですが、学習段階での答案としては、やはり“料理”はまずいでしょう。確かに“日本料理”や“韓国料理”はしばしば耳にもしますし、看板などでも見かけます。しかしそれはエスニックと言いますか、比較的限られた民族料理にしか使われないようで、将来は知りませんが、今のところは、“中国料理”にはかなりの異和感があるように感じられます。

——だいぶ前に「お茶を飲む」の“喝茶”を“吃茶”としては誤りかどうかでもめたことがありますね。

やはり“喝茶”でしょう。なるほどかなり多くの地方で“吃茶”も使われていますが、“普通话”としては“喝茶”を教えてほしいし、覚えてほしいですね。

広い中国のことですから、地方によって語彙や文法にかなりの違いが見られるのは事実ですが、教壇に立つからには、自身がふだん使っていることばを過信するのではなく、常に“普通话”として通用するかどうかの反省がほしいですね。

——おしまいに「これだけは言っておきたい」ということを。

遺言ですか。まだちょっと早いかな（笑）。

やはり「外国語を学ぶ前に日本語を」。

それと、自国の歴史や文化にもっと目を向けてほしいですね。

近頃、「発信できる外国語を」ということがよく言われますが、肝心なのは発信する中身ですね。いくら流暢な中国語であっても、中身が浅薄であっては、しょうがないですからね。

ペラペラと中身の無い話をするよりも、訥々（とつとつ）と詰まりながらもよいから、中身のある話ができるようになりたいですね。

“X不比YW”と“X跟Y一样W”

日本中国語検定協会理事・文京学院大学 魯曉琨

“X不比YW”は構文においては“X比YW”の否定形のように見えますが、意味においては、“X比YW”の否定文ではありません。前回すでに説明したように、“X比YW”の否定形は“X没有YW”です。三者を比べてみましょう。

- (1)他比我高。(彼は私より背が高い。)
- (2)他没有我高。(彼は私より背が低い。)
- (3)他不比我高。(彼は私より背が高いわけではない。)

“X比YW”も“X没有YW”もXとYの差異を示していますが、“X不比YW”は「WにおいてXはYと変わらない」という意味を表します。そのため“X不比YW”と“X没有YW”は明確に異なります。

一方、“X不比YW”は“X跟Y一样W”と類似する部分があります。例えば、

- (4)他跟我一样高。(彼は私と同じぐらいの背の高さである。)
- 例(3)も(4)も“他”と“我”の背の高さが同じであるという事実を述べているため、両者の使い分けが問題となっています。

“X跟Y一样W”は初級レベルの文型ですが、“X不比YW”は少なくとも、中国語検定試験三級までは取り扱われない難解な文型です。“X跟Y一样W”との区別を見ながら、“X不比YW”について考えていきましょう。

- (5) a 姐姐跟妹妹一样漂亮。(お姉さんは妹と同じぐらい綺麗だ。)
- b 姐姐不比妹妹漂亮。(お姉さんも妹より綺麗であるわけではない。)
- (6) a 我的发音跟他一样好。(私の発音は彼と同じぐらい上手だ。)
- b 我的发音不比他好。(僕の発音も彼よりマシなわけじゃない。)

例(5)では、容姿において“姐姐”と“妹妹”が同様だと言っていますが、しかし、(5)aでは、両方とも綺麗であるのに対し、(5)bでは両方とも醜いと言っています。(6)では、“发音”において“我”と“他”が同じレベルだと言っていますが、(6)aでは、両方とも発音がいいのに対し、(6)bでは両方とも発音がよくないと言っています。

まとめると、“X跟Y一样W”はXとYはWの意味において同じであることを表しますが、一方、“X不比YW”はXとYはWの反対の意味において同じであることを表します。つまり、Wが“漂亮”“聪明”“轻松”“便宜”“容易”“高”“好”などの褒義の形容詞である場合、XとYに対して“X跟Y一样W”はプラス評価であるが、逆に“X不比YW”はマイナス評価です。反対に、Wが“难看”“笨”“紧张”“贵”“难”“矮”“差”などの貶義の形容詞である場合、XとYに対して“X跟Y一样W”はマイナス評価であるが、逆に“X不比YW”はプラス評価です。このような違いによって、“X跟Y一样W”と“X不比YW”はいずれの場合も互換できま

せん。“X跟Y一样W”は分かりやすいため、“X不比YW”に絞って話を進めます。“X不比YW”が使える文脈には制約があります。現れる文脈を見てみましょう。

(7)店員：您要什么？

(何がほしいですか。)

顧客：请问，有茅台酒吗？

(すみません，茅台酒はありますか。)

店員：没有了。您看，这种名酒也很好，质量不比茅台酒差，价钱又比茅台酒便宜。

(売り切れました。ご覧ください，この種の名酒もとてもいいです。質は茅台酒に劣らず，値段は茅台酒より安いです。)

例(7)では，顧客が一番高級なお酒である茅台酒を買いたいですが，商品が売り切れです。店員はほかの名酒を勧めようと，社会通念を否定し，顧客の認識を変えようと思って“这种名酒…，质量不比茅台酒差”を使いました。

(8)甲：你看，我妹妹不像我，长得漂亮。

(ご覧，私の妹は私と違い，綺麗でしょう。)

乙：你也不比你妹妹难看。

(あなただって妹さんと変わらないよ。)

例(8)では，甲は自分が妹と違い，綺麗ではないという認識を示しました。それに対して，乙は甲の認識を否定し，「あなたも綺麗だ」と言いたくて，“你也不比你妹妹难看”と言いました。

(9)我突然发现自己不比别人强。

(私は突然自分が人よりできるわけではないことに気がついた。)

例(9)では，話し手は自分の過去の認識を否定しました。

例(7)(8)(9)のように，“X不比YW”が用いられる場合，話し手は，社会通念、聞き手の認識、話し手の過去の認識を否定し，それと異なった認識を示します。そのため，社会通念、聞き手の認識、話し手の過去の認識などの存在または予想されることが前提となります。なお，聞き手の認識を否定するとき，反論・反駁の語気も出ています。たとえば，

(10)上司：小李的工作很辛苦。(李さんの仕事は大変ですよ。)

(潜在的な意味：王さんの仕事は李さんほど大変ではない。)

小王：我的工作也不比小李轻松。

(私の仕事も李さんより楽なわけではありません。)

以上で“X不比YW”の難しさが分かっていたかだと思います。この文型を用いて，人を褒める際は，通常と違い，例(8)のように貶義の形容詞を使うことを忘れないでください。また，聞き手の認識を否定する場合，反論・反駁の語気となるため，要注意です。

参考文献

相原茂 (1992) 「汉语比较句的两种否定形式－“不比”型和“没有”型」『语言教学与研究』3期

絵で見る慣用語(13)

絵・張恢

文・『中国語の環』編集室



心肠软 xīncháng ruǎn

気が弱い；情にもろい。“心肠”は気持ち、気立て、心根(こころね)。“心肠硬”(xīncháng yìng)は「情が強(こわ)い」。她心肠太软。彼女はとても情にもろい。



心眼儿多 xīnyǎnr duō

頭の回転が速い；気が利く，機知に含む。悪知恵がはたらく意にも。他人不错，就是心眼儿太多。彼は人は悪くないが，ちょっと気を回しすぎるところがある。



寻开心 xún kāixīn

楽しみを求める；転じて，人をからかったりなぶりものにしたりして楽しむ意にも。

别拿我寻开心。ぼくをからかうのはよしてくれ。



压担子 yā dànzi

重荷を負わせる；重い任務や責任を与えて鍛える。重任・重責を負わせる。给年轻人压担子，让他们更快成长。若者に重い任務を負わせて，彼らの成長を促す。



轧马路 yà mǎlù

道路にローラーをかける；主に恋人どうしが街をぶらつくことをユーモラスに言う。“压马路”とも書く。

跟情人一起逛公园，轧马路。恋人と公園で遊んだり，街をぶらついたりする。



眼中钉 yǎnzhōngdīng

目に刺さった釘；とかく気に障る人や邪魔になるもののたとえ。目の上のたんこぶ。目のかたき。邪魔者。“肉中刺”(ròuzhōngcì—肉に刺さったとげ)と連用されることが多い。



摇尾巴 yáo wěiba

しっぽを振る；卑屈な態度で人におもねる。

摇着尾巴，讨好别人。しっぽを振って人の歡心を買う。



一把抓 yībǎzhuā

何もかも一手に引き受ける。また、(事の輕重を考えないで) 何もかも一緒にたにする。

他什么都一把抓。彼は何でも自分でしないと気がすまない。

眉毛胡子一把抓。みそも糞(くそ)も一緒にする。



一锅端 yīguōduān

(なべの中のもの)をそっくり運び出す；すっかり平らげる。根こそぎにする。また、洗いざらいしゃべる意にも。将走私分子一锅端。密貿易者を一網打尽にする。



咬耳朵 yǎo ěrduo

耳うちする；内緒話をする、ひそひそ話をする。

咬着耳朵说话。耳元に口を近づけて話す。



一场空 yīchǎngkōng

(これまでの希望や努力の) すべてが無駄に終わる；水泡に帰す。おじゃんになる。

竹籃打水一场空。竹籠で水を汲むようなもので骨折り損のくたびれもうけである。



一溜烟(儿) yīliùyān(r)

煙がすとなびくように；走り方や逃げ方の素早い形容。一目散に。雲をかすみと。

孩子们一溜烟儿地跑出去了。子供たちはさっと駆け出していった。

1 声成語と4声成語

日本中国語検定協会監事・日本大学(非) 大塚秀明

日本語の4字熟語の多くは中国語に由来する。日本語では音読しているが、その4字を中国語で読んでみると、例えば「鷄鳴狗盜」はjīmíng-gǒudàoとなり、4つの声調が順序よく並んでいることに気づく。「画竜点睛」も「論功行賞」も中国語で読むと順序は違^じうが4つの声調からなる。このように4つの声調で構成されている成語を4声成語と名付け、これに対し1つの声調だけで構成されている成語を1声成語とする。順列組合せの公式にあてはめると、こうした組合せは4の4乗=256通りあることになる。そのうち1声成語は4通り、4声成語は24通りある。

先ずは1声成語から。4字がみな第1声の成語はわずかに見られ、4字がみな第2声、同じく第3声、第4声の成語は皆無に近い。中国語として嫌われる並びなのであろう。では問題です。

I 1字を入れて1声成語を作りなさい。

①□呼哀哉 ②□空心思 ③□七八糟 ④名□其实 ⑤岂有□理 ⑥自作自□

①呜 wūhū-āizāi ああ哀しいかな；死者を弔うときの言葉。②挖 wākōng-xīnsī あれこれ考える；無い知恵を絞る。③乌 wūqībāzāo “乱七八糟”に同じ。めちゃくちゃである。④符 míngfúqíshí “名副其实”に同じ。名がその実に符合する。名実相伴う。⑤此 qǐyǒuciǐ あに此の理あらんや；そんな道理があるものか。⑥受 zizuò -zìshòu 自分で作り自分で受ける；自業自得。

次は4声成語。初めは4つの声調の順に1, 2, 3, 4と並ぶ「正順」である。

II 1字を入れて4声成語(正順)を作りなさい。

①□明磊落 ②□团锦簇 ③□锤百炼 ④□明水秀 ⑤□前想后 ⑥□文扫地
⑦□直口快 ⑧□谋诡计 ⑨□肥拣瘦 ⑩□红酒绿 ⑪□谋远虑 ⑫□魔鬼怪

①光 guāngmíng-lěiluò 公明正大でさっぱりしている。②花 huātuán-jǐncù 花集まり錦群がる；いろとりどりで鮮やかである。③千 qiānchuí-bǎiliàn 千たび打ち万たび練る；何度も詩文の推敲を重ねる。④山 shānmíng-shuǐxiù 山紫水明。⑤思 sīqián-xiǎnghòu 前を思い後を考える；あれこれ思い悩む。⑥斯 sīwén-sǎodi 斯文地を払う；文化や文化人が墮落する。⑦心 xīnzhí-kǒukuài 率直で思ったことをすぐ口に出す。⑧阴 yīnmóu-guǐjī 陰謀と悪だくみ。⑨挑 tiāoféi-jiǎnshòu 脂身と赤みをよりわけける；えり好みをする。⑩灯 dēnghóng-jǐulǜ 灯火は赤く酒は緑たり；歓楽街のにぎわい。⑪深 shēnmóu-yuǎnlǜ 深く考えを巡らし遠くを考える；深慮遠謀。⑫妖 yāomó-guǐguài 妖怪変化；極悪人。

正順に対して逆順の4声成語がある。正順の心地よさはかなり減じるが、何度も繰り返して読むと馴染んでくる。

III 1字を入れて4声成語(逆順)を作りなさい。

①□水难收 ②□骨铭心 ③□己成舟 ④□古长青 ⑤□假成真 ⑥□手旁观

①覆 fùshuǐ-nánshōu 覆水盆に返らず。②刻 kègǔ-míngxīn 骨に刻み肝に銘じる；他人の好意を忘れない。③木 mùyǐ-chéngzhōu 木すでに舟となる；取り返しがつかない。④万 wàngǔ-chángqīng いつまでも青々としている；永遠に変わらない。⑤弄 nòngjiǎ-chéngzhēn 偽物を本物としたてる；嘘から出たまこと。⑥袖 xiùshǒu-pángguān 手をこまぬいて傍らから見る；高見の見物を決めこむ。

4 声成語の残りの組合せは22通り。冒頭の「画竜点睛」も「論功行賞」もある。

- 1243 嘘寒问暖 xūhán-wènnuǎn 寒さに息をかけ暖かいかと問う；人の生活に心を配る。
1324 肝脑涂地 gānnǎo-túdì 肝臓や脳髓が地に塗(まみ)る；惨たらしい死に方をする。
1342 花好月圆 huāhǎo-yuèyuán 花は満開，月は満月；夫婦が仲睦まじく円満である。
1423 身不由己 shēnbùyóujǐ 身体が自分の思いのとおりにならない；思うに任せない。
1432 轻重缓急 qīngzhòng-huǎnjí 事の軽重と緩急；ことからの重要度と緊急度。
2134 唇干口燥 chúnghān-kǒuzào 唇かわき口かわく；しゃべりすぎて喉がかわれる。
2143 含沙射影 hánsā-shèyǐng 砂を含みて影を射る；ひそかに人を中傷する。
2314 神采焕发 shéncài-huànfā 風采に精神の充実が見られる；はつらつとしている。
2413 梁上君子 liángshàng-jūnzǐ 梁上の君子。
2431 奇货可居 qīhuò-kějū 奇貨おくべし。
3124 恼羞成怒 nǎoxiū-chéngnù 恥ずかしさのあまり怒りだす。
3142 指桑骂槐 zhǐsāng-màhuái 桑を指して槐(えんじゅ)を罵る；あてこすりを言う。
3214 举足轻重 jǔzú-qīngzhòng 足を挙げるに軽重あり；一挙手一投足で大勢が決まる。
3241 老牛破车 lǎoniú-pòchē 老いた牛がボロ車を引く；効率が悪くもたつく様子。
3412 苦尽甘来 kǔjìn-gānlái 苦尽きて甘(かん)来る；苦あれば楽あり。
3421 马到成功 mǎdào-chénggōng 馬到り功成る；仕事を始めるとすぐに成果を挙げる。
4123 论功行赏 lùngōng-xíngshǎng 論功行賞。
4132 互通有无 hùtōng-yǒuwú 互いに有無を通ず；双方が余裕を廻し不足を補いあう。
4213 慢条斯理 màntiáo-sīlǐ 落ち着いてゆったりしている。
4231 画龙点睛 huàlóng-diǎnjīng 画竜点睛。
4312 继往开来 jìwǎng-kāilái 旧事を継ぎ将来を開く。

以上28通り，残る228通りは2声成語が84通り，3声成語が144通りである。

声調を考えると軽声が問題になる。小稿が依拠する《現代汉语词典》では軽声を持つ成語を挙げている。“不识抬举 bùshí-táijǔ”(人の好意を無にする)，“火烧眉毛 huǒshāo-méimáo”(焦眉の急)，“满不在乎 mǎnbùzàihu”(少しも気にかけない)などである。また辞書では立項されていないが“阿谀”には“奉承”が続くēyú-fèngcheng(阿諛追従する)があり，“粗心”には“大意”が続くcūxīn-dàyi(おおざっぱである)がある。成語と軽声は共起するのか，疑問を残しつつ、ひと先ず軽声成語と命名しておく。

ただ冒頭の“挖空心思”の“心思”も，“冤家路窄 yuānjiā-lùzhǎi”(敵どうしはよく会おう)の“冤家”も軽声語である。《現代汉语词典》では，4字成語に入ると元の声調に戻る軽声語も考えているのであろうか。

ここ、よろしいですか

日本中国語検定協会理事・中京大学 張 勤

お昼時のショッピングモールのフードコートはいつも混むものだ。美味しそうなラーメンを買ったのはいいが、トレーに載せて、探し回っても空いているところがない。仕方なく楽しそうに食べている親子の隣の一つ窮屈そうな席へ向かい、恐る恐る伺う――

(1)ここ、よろしいですか。(这里，可以吗？)

「よろしい」は“好/适当/没关系/行/可以”などと訳せるが、ここは着席の許しを請うている場面なので、“可以”が一番適切である。具体的な行動についてのお許しなら、次のように言えばよい。

(2)写真を撮ってもよろしいですか。(可以拍一张照吗？/拍一张照，可以吗？)

(3)電話をお借りしてもよろしいですか。(可以借用一下电话吗？/借用一下电话，可以吗？)

ちなみに“可以拍一张照吗？/拍一张照，可以吗？”を、数量補語を省略して言えば、写真を撮る行為そのものができるかを尋ねることになる。美術館に入る前に、係員に中では写真が撮れるかと確認する場合、“(里边儿)可以拍照吗？”と言う。

ところで、ひそひそ話をしたい二人が混み合うレストランで席を探しているところ、空いているのがあって、相棒に「ここ、よろしい？」と聞く場合、(4)がより適切だろう。

(4)这儿，行吗？

“可以”と“行”は「よろしい」「できる」という意味では類似しているが、“可以”は許可的な意味を含むが、“行”はより客観的な状況による判断を示す。(4)はひそひそ話をする場所としてここは適当かというニュアンスとなるのである。もちろん、“这儿，可以吗？”とも聞けるが、ここにするかどうかの相棒の意向を伺うことになる。

さあ、美味しいラーメンを食べ、ひそひそ話も楽しんだ後、食器を戻すことに。相棒から一緒に食器を戻してくると言われ、「よろしいですか」と尋ねてみる。中国語では、“可以吗？”か“行吗？”となるが、“可以吗？”のほうは「頼んでよろしいですか？」という聞き方に重きがあり、“行吗？”は、持てるかどうかに関心があるような聞き方になる。この場合の“可以吗？”は使い方として質問するというよりも社交辞令的なもので、いわば“客气”を示すための意味合いが強い。食器を戻してくれるぐらいで“可以吗？”を言うことから遠慮し合う仲だと分かってしまう。

最後に(1)のように聞かれたら、どう答えればよいのか。OKなら“可以。”でよいが、断りをする場合は、“不行。”と言えば喧嘩腰になるので、まずい。社会的な場面であることも考慮して次のような言い分が穏便だろう。

(5)不好意思，已经有人了。(すみません，もう人がいます。)

忘れられない誉め言葉

興儀真里奈

私は、大学2年生の時に受けた中国語の講義で言われた誉め言葉がうれしくて今でも忘れられません。まず、私が中国語を勉強するきっかけからお話します。

この文章をご覧になっている皆様の中国語を学ぶきっかけとなったものは何ですか。大学での第二外国語選択だとか、仕事の赴任先が中国だからだとか、中華料理を毎日食べても飽きないほど好きだからだとか色々あると思います。

私の場合は、小学生の頃に見た台湾ドラマです。私は小学生の頃、テレビを見ながら宿題をするのが日課でした。本当は、勉強をする時はテレビを消した方が良いのですが…哈哈大笑。このあまり良いとは言えない習慣が、「中国語を学びたい」という意欲に繋がりました。

小学4年生の頃、学校から帰ってテレビをつけると、たまたま台湾ドラマの『流星花園～花より男子』が放送されていました。ドラマの内容がコミカルで面白く、登場人物の性格がそれぞれ個性的だったので、すぐにそのドラマに夢中になりました。それから、毎週そのドラマを見ているうちに主題歌の『心ならずも/清非得己』という曲が好きになりました。「この歌の意味は何だろう?」「歌詞カードは中国語で書かれているなあ、中国語って面白そうだなあ」などの好奇心から中国語に対する興味が生まれました。しかし、当時は中国語を本格的に学習するには至りませんでした。

本格的に中国語の勉強を始めたのは、今から約7年前の高校2年生の4月です。きっかけとなったのは、ある一冊の本でした。その本は『中検4級3級徹底攻略 中国語単語2000』です。私はこれを学校帰りに立ち寄った本屋さんで購入しました。私はその本を見つけた時、初めて中国語検定というものがあるということを知りました。それまでは、中国語の検定の存在を知らなかったのです。それから、検定を取得するのなら履歴書に書けるレベルに合格したいと思い、中国語検定3級の問題集を購入しました。その問題集に掲載されている中国語検定3級の説明書き「一般大学の第二外国語における第二年度履修程度」を見て、私は「高校生で中国語検定3級に合格すればきっと地元の新聞に掲載されて、担任の先生から褒められるかもしれない」と思いました。私は当時、友達が少なく、ちょっと変わった子として周りから見られていましたので、誰かから褒められたいという気持ちが強かったです。中国語検定3級は3回受験して、3度目の受験で合格しました。高校生のうちに合格するという目標は達成できましたが、地元の新聞に載ることはなかったです。因みに、高校生の頃は独学で中国語を勉強していました。独学で勉強することの一番の楽しみは、自分が覚えやすい勉強方法を考えながら学習することです。例えば、テキストを見ながら問題を作ったり、ディクテーションを試みたりします。

大学の第二外国語ではもちろん中国語を選択しました。大学2年生の中国語の講義ですごくうれしいことがありました。それは、暗唱テストで「発音がきれいでびっくりした」と先生から褒めてもらったことです。その褒められたフレーズは、“我从来没吃过这么好吃的菜”です。なぜ卒業した今でも覚えているのか不思議ですが、多分私はそれくらいうれしかったのだと思います。何かでつまずいたり、くじけそうになった時は先生からその言葉を言われた瞬間を想い出して励みにしようと思います。老师，谢谢您！

味わい深い新しい漢詩の本

上野恵司

わが日本中国語検定協会理事の王占華氏が昨春、朋友書店から『詠新漢詩 学中国語』と題する楽しい本を出された。

王占華氏は吉林省長春のご出身。名門吉林大学で学を修めたのち来日、大阪市立大学大学院でさらに研鑽を積んだ後、長く北九州市立大学で教鞭を執り、専攻の漢語語法学を中心に、広く中日両語の言語文化の研究と教学に従事してこられた。

たまたまわたくしが氏より先に同じ大阪市大の大学院に在籍した縁もあり、「同窓」ということで知り合って久しい。

氏が学業の余暇に詩作を楽しまれることは聞いていたが、今般、そのうちの50篇を選び、自ら篇ごとに解説を付して刊行されると聞いて、校正刷りを読ませてもらった。読後感はまさしく“先睹为快”，誰よりも先に読む幸せを味わうことができた。

故郷を想う詩あり、旧友を懐かしむ詩あり、飲酒と喫茶の喜びに浸る詩あり、旅を愛し風景を愛でる詩あり……。これらの作品に一貫しているのは、氏の豪放にして繊細、友情を重んじ、六十有五にしてなお童心を失わない愛すべき人柄である。「文是人なり」と言うが、「詩もまた人なり」である。

作品はすべて伝統的な詩詞のスタイルを襲っているが、ありがたいことに、そのすべてに現代中国語訳が付されていて、しかもその中国語訳には氏の受業生である津々見るみ子さんによる流暢な日本語訳が添えられている。これらの配慮によって、これまで機会の無かった人も容易に漢詩に接することができ、兼ねて中国語の学力の向上をも図ることができるのである。

先輩ぶって偉そうなことを書いてきたが、白状すると、わたくし自身も詩は素人である。この本が刊行された今、もう一度じっくり豊饒な漢詩の世界に浸りたいと願っている。

(日本中国語検定協会理事長)

『読者の広場』への投稿を募集しています。中国語に関すること、検定試験に関することなど、400字～1,000字程度でお寄せください（Eメール、郵便ともに可）。採用された方には、記念品を進呈します。